

# おち町

No.128

2019 (H31) 4/26  
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN



清流仁淀川から笑顔で登場の花嫁 4/13(2面参照)

## 3月定例会

- 2P 若者との屋外会議を開催
- 8P ことしの事業ピックアップ・越知ぜよ!熱中小学校など
- 18P 県道18号伊野仁淀線改良など5人が問う

議会です  
こんにちは

## 連載：若者登場⑦

122号から若者に焦点を当て、インタビュー記事を掲載しています。今回は山崎海弥さんと古味翔希央さんに、お話を伺いました。



古味翔希央さん

山崎海弥さん

**問 自己紹介を。**  
山崎 高知西高校から1年浪人を経て、今年の春から高知大学教育学部へ進み、中学校の教員を目指しています。  
古味 土佐高校から1年浪人を経て、この春から関西学院大学文学部英米文学英語専修に進学する予定です。

**問 議会だよりは読んでいますか。**  
古味 気になってはいるし、ほんとに僕らの世代やったら見やすいと思う。  
山崎 読んでいます。

**問 越知町に関心を持ってもらうにはどうしたらよいと思いますか。**  
山崎 催し物など町外の人にも伝わるような宣伝を持ったり、町内出身者は関心を持って帰ってきてくれるのではないかと思います。  
古味 越知町の良さを自慢できるよう、自信を持ってアピールすることが大事だと思います。

**議会を傍聴しませんか**  
3月定例会の傍聴者は延べ5人でした。次の定例会は6月7日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。



**問 選挙権が18歳になったことをどう思いますか。**  
古味 単に投票することは簡単だけれど、選挙の内容を把握し責任を持って投票することは、18歳にとっては難しいことだと思います。  
山崎 そういう意見もありますが、投票数が増えることは良いことだと思います。  
選挙に関心を持って、学校とかでも調べたりする学生が増えていくと思います。

\* 本日は、進学準備でお忙しい中、ありがとうございます。  
文武両道のお二人が、さらに成長し、好青年となっている姿に驚きました。  
今後の益々のご活躍を楽しみにしています。(取材班)

## 編集後記

3月定例会は、平成最後となる議会となった。元号が平成から令和へと移り新たな時代がスタートする。平成の30年は、過去に例を見ない自然災害が多発し甚大な被害をもたらした時代であったと思う。  
令和の世は平穏であってほしいと願うばかりです。  
さて、今回は世代の違う2つの住民懇談会を実施し、貴重なご意見やご要望をいただきました。  
皆様方の思いを慎重に町政に反映させ、いつまでも住み続けたいと思える町にしたいことが、議会議員の責務だと思っています。

《小田》

編集・発行責任者	議長 長寺村 晃幸
議会広報常任委員会	委員長 市原 静子
	副委員長 高橋 文一
	委員 小田 範博
	委員 森下 安志
	委員 箭野 久美

※分かりやすい紙面にと心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

2 屋外会議 座談会

若者らしい提案がありました

6 一般会計当初予算 前年度比1.3%増  
41億955万円

8 今年の事業ピックアップ  
越知ぜよ!熱中塾事業など

10 どう使う新年度予算(議案質疑)  
よコジローグッズなど

14 こんなことが決まったぜよ  
横畠西部に集落活動センター

16 平成30年度補正予算  
総額45億3873万円

18 一般質問5人が問う  
県道18号伊野仁淀線改良など

24 総務教育委員会レポート  
町民バス待合所建築工事など

26 産業建設委員会レポート  
宮の前キャンプ建築他工事など

28 議会報告懇談会(堂林公民館)  
水が一番。高齢化で管理ができない

30 追跡!あれはどうなっっちゃうが?  
1区移住定住用地購入費

32 議会ですこんにちは  
連載:若者登場⑦



バックナンバー120移住者訪問⑩で紹介した新婦川合里奈さんと新郎河嶋真さんの結婚披露パーティー。お二人の地域を思う気持ちと手づくりであったかいパーティーに出席者の皆さんが涙をこらえきれませんでした。末永くお幸せに。

屋外会議

座談会

若者らしい提案がありました

4月9日に、スノーピークおち仁淀川キャンプフィールドで「これからのまちづくり」というテーマで、16歳の高校生を始めとする11人の若者と議会との屋外会議を初めて開催しました。季節外れの寒さとなりましたが、屋外ならではの開放感のなか和やかに本音の意見交換ができました。

若者との屋外会議

インターネットの環境整備を

移住者受入体制の充実を

子育て支援を

次ページに意見交換



くらたあおい  
倉田葵さん  
(会社員)



ひろせしんや  
廣瀬真也さん  
(地域おこし協力隊)



(高校生)



おおはらたかのり  
大原隆典さん  
(会社員)



おおつみしょうさぶろう  
大槻章三郎さん  
(会社員)



くりたしげき  
栗田茂樹さん  
(農業)



ささきよしのり  
佐々木良典さん  
(会社員)



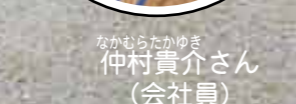
やたさとみ  
矢田智美さん  
(会社員)



ほそかわともき  
細川知輝さん  
(会社員)



おがなぎさ  
岡渚さん  
(会社員)



なかむらたかゆき  
仲村貴介さん  
(会社員)

# 人が集まるまちに

若者と90分間意見交換した内容の一部を紹介します。

みなさんが、まちづくりで思っていることや感じていることをお話しください。



総勢20人が椅子を並べて議論

## インターネットの環境整備を

### インフラとして捉えて

**仲村さん** 今の無線ランのインターネット環境が良くない。事務所機能をどこか環境の良いところへ移転する話も出る。ネット環境をインフラとして捉えて頂けたらなと思っています。



仲村貴介さん



細川知輝さん

### 本腰を入れて

**細川さん** インターネットってこれから先は、ほんとに必需に近いものになってくるんじゃないかと思っています。ネット環境が整備されてないから町へ出て行って、山は人がどんどん少なくなってくる。本腰を入れて考えてもらいたいなと思います。



栗田茂樹さん

### 早めに整備を

**栗田さん** 桐見川とか野老山、横島、片岡そういうところにある自然を見ながら、自分でインター



矢田智美さん

### 子育て支援を

**矢田さん** 産婦人科が閉院また、保育園の一時保育がなくなるっていう話を同時に聞いた。越知に住もうと前向きになったきっかけだったのでショックが大きい。

ネットを繋ぎつつ仕事をできたらいいと思います。早めに整備していただくと大変うれしです。

**議員** 30年度に町が全体計画を決める。



岡渚さん

### めっちゃ不便

**岡さん** めっちゃ不便やし、町からの通学補助も少ない。

### 移住者受け入れ態勢の充実を

**矢田さん** 移住者が、空き家バンクを利用してますが、ぼろすぎます。改修補助金はまだありますか。

**議員** 移住・定住に関係なく、耐震工事に伴う補助金があります。

### 子どもの通学は

**仲村さん** 通学を不便とって思っていない。

**矢田さん** 東京から越知に移住したくても、ネットで探せる不動産情報がなく、空き家バンクに登

録されている家には、住みたいと思う物件はなかった。



大槻章三郎さん

### ワンランク上に

**大槻さん** 都会からキャンプ場に来てくださった人が、もっとド田舎かと思ったら暮らしやすそうで、「越知はいい所だよな」ってけっこうみんな言ってくれている。

それを東京で言ってもえれば、移住に繋がると思う。

林業とか、農業とかで自活しやすい環境になると、いい所からワンランク上にいけると思う。

また、越知町移住って検索すれば、移住支援相談員に繋がるシステムにすれば、一気に敷居が下がるかなって思います。

## 林業振興

### 地域力が上がる

**仲村さん** 林業を数年前からやっています。越知町独自の補助金があるって聞いています。ほとんどないっていうふうに聞きました。

日常生活に必要なエネルギーを県外、国外に頼っている。それを越知町の木材を活用することで、地域力が上がるんじゃないかというふうに考えています。

### かなり遅れている

**岡さん** 越知は、森林簿データができていない地区もあり、林業に関してはかなり遅れていると思います。

**議員** 国土調査が進んでいるので整備されてくると思います。

## 地域づくり

### 元気で集まることが一番大事

**大原さん** 横島西部集落活動センターが、5月からオープンになります。地区の人が元気で集まるってことが一番大事だと思います。

### お祭りを継承して

**栗田さん** 集落のお祭りを継承していくことを協力隊に協力してもらったらどうですか。

**議員** 協力隊のミッションの一つとなっている。

### アンケートの一部を紹介します

座談会は満足しましたが 今後も必要と思いますか

○少し寒かったが開放感があったことにより、緊張もせず意見も言いやすかった。  
○直に議員と話す機会意外と少ないので必要と思う。

○人が変われば持っている意見も違うと思うので必要と思います。

○役場にしても議会にしても町民と切り離されていると思います。  
○このような現状に座談会は一石を投じるものになるのではないのでしょうか。

**ご意見・ご要望は**  
○高校生が行けるおしゃれなカフェをつくってください。

座談会で出た意見やアンケートを取りまとめ、執行部に文書を提出し、回答してもらおうようにします。

今後このような座談会を開催し、若者の声を大切にして、議会活動に生かしてまいります。

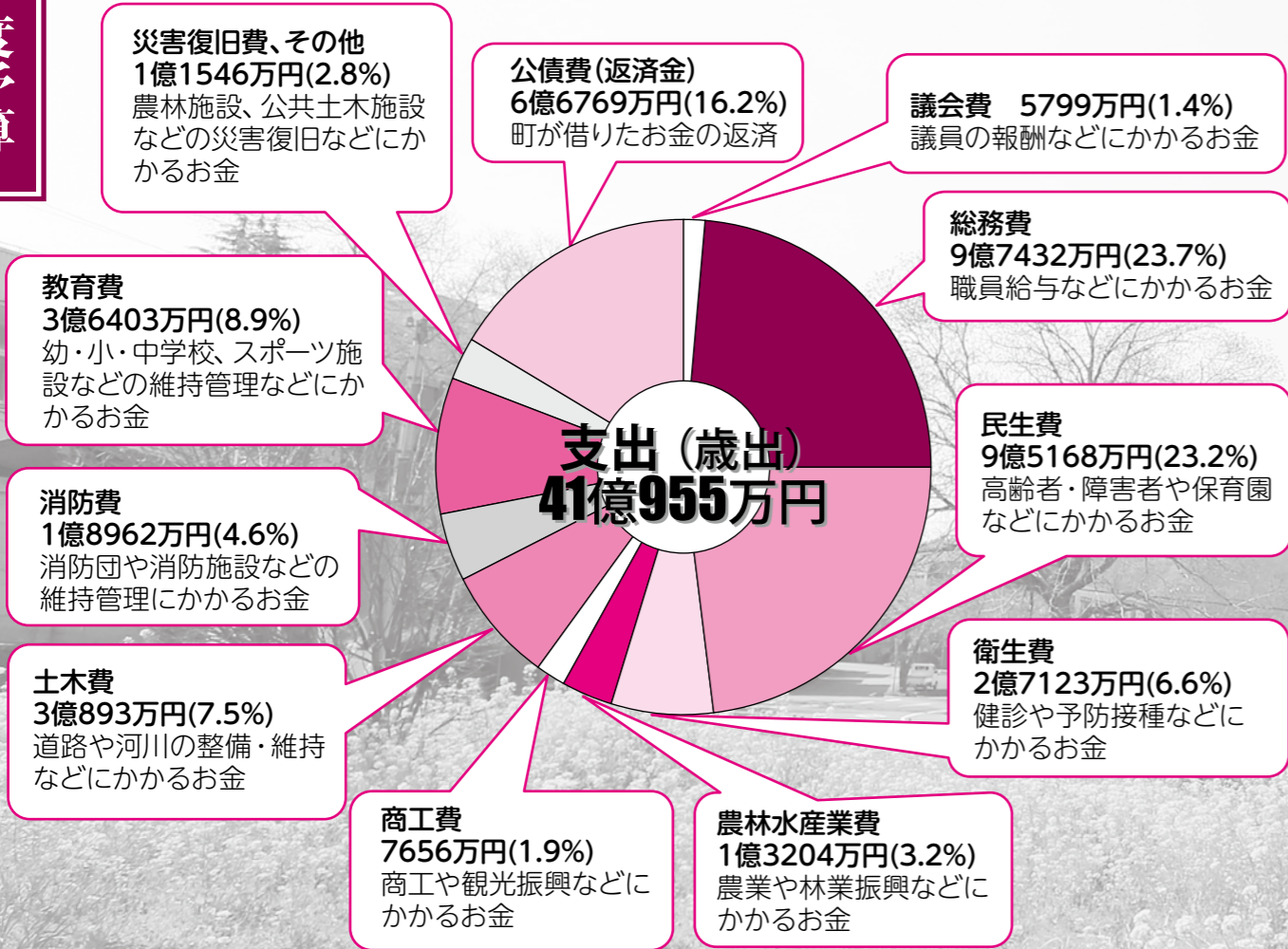
### 大槻さんからのお知らせ

スノーピークおち仁淀川キャンプフィールドのイベント広場を懇談会・イベントなどに活用してください。



# 収入と支出を分析

## 共同調理場など 地方債(借金)の元金償還始まる



# 一般会計当初予算

## 41億955万円

前年度比1.3%増

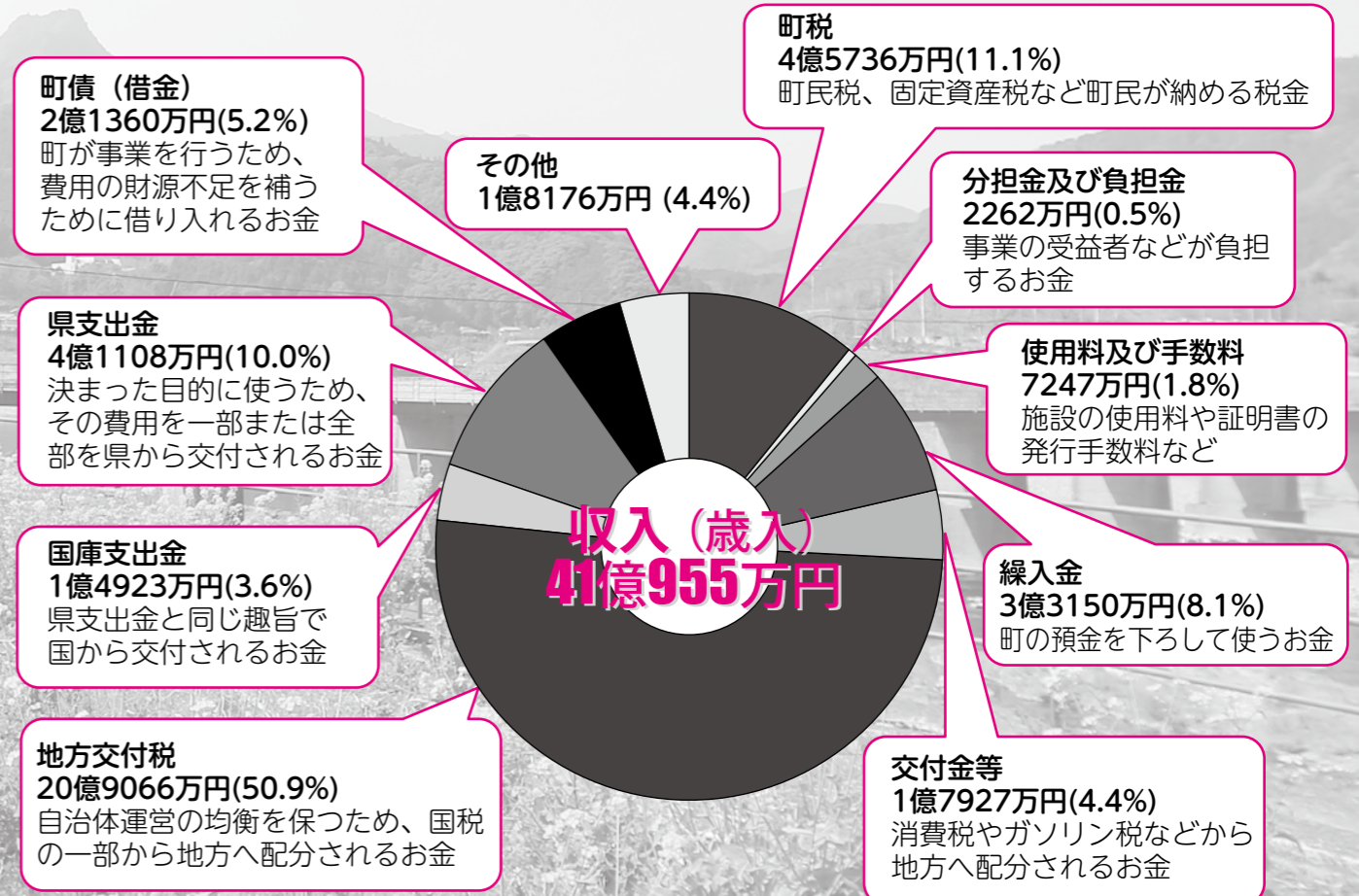
自主財源比率:25.9%  
10億6572万円

町で集めたお金

依存財源比率:74.1%  
30億4383万円

地方交付税や国・県補助金、町債などのお金

3月定例会は8日から13日までの会期で開き、平成31年度各会計予算、平成30年度各会計補正予算、集落活動センター条例の制定(14面に関連記事)など32件を全員賛成で可決・承認し、観光物産館条例の一部を改正する条例(14面に関連記事)を賛成多数で可決し、人事案件1件を同意しました。  
一般質問(18面からは5人が登壇し、執行部の考えをいただきました。



### 今年予算を分析

#### 一般会計

義務的経費 2.6%増

人件費や公債費などの義務的経費は、共同調理場などの地方債(借金)の元金償還が始まることや、キャンプ場の指定管理料の増額などにより、前年度比2.6%増の17億9876万円と全体の43.8%を占める。

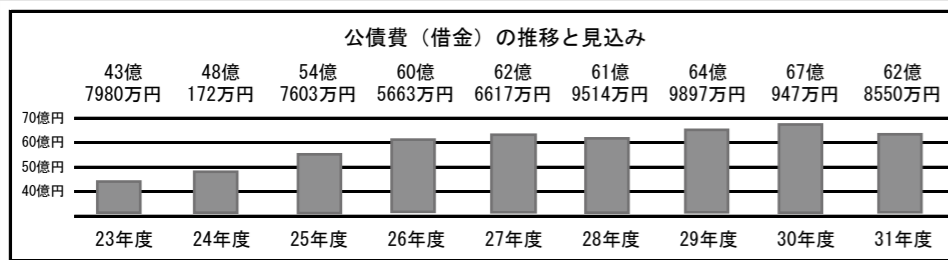
投資的経費 10.7%減

普通建設事業費や災害復旧事業費の投資的経費は、2億2824万円と全体の5.5%を占める。キャンプ場事業が完了し減額となった。

その他の経費 50.7%

一部事務組合や各種団体への負担金、補助金や特別会計への繰出金などその他の経費は、20億8255万円と、全体の50.7%を占める。

#### 地方債残高



### 31年度各会計当初予算 全ての会計を全会一致で可決

△はマイナス

会計区分	一般会計	特別会計								企業会計
		簡易水道	下水道	国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療	土地取得	蚕糸資料館	自然の森博物館	
予算額	41億955万円	4495万円	1億7161万円	7億1672万円	10億8900万円	1億2264万円	884万円	22万円	2549万円	6203万円
増減	5414万円	1872万円	1141万円	△6230万円	770万円	228万円	839万円	0万円	515万円	△79万円

# 今年のお事業

# ピックアップ

31年度当初予算の中から、注目する事業を取り上げました。



## 子育て支援

支援センター開所

61万円

保健福祉センター1階に子育て世代包括支援センターを10月開所予定。母子保健コーディネーターを配置し、妊娠・出産・子育ての総合相談窓口とする。

元気に大きくなあれ

## 災害に対処する

419万円

消耗品と備品購入



備蓄されている粉ミルクとほ乳ボトル

南海地震などの災害に対応するため、トイレトイレットペーパー、水、育児用ミルク、ヘルメットなどの消耗品とワンタッチトイレ、屋外用テントなどの備品を購入する。

## おとな向け社会塾

越知ぜよ!熱中塾事業

816万円



第1期の受講生は94人

越知ぜよ!熱中塾は、全国11カ所目の「熱中小学校」として昨年9月に開校。町内外の生徒が、講師の話から刺激を受け、生徒同士の繋がりができる学びの場となっている。

【11面に関連記事】



薬用作物振興ミッションの岡田隊員

地域の維持・活性化  
地域おこし協力隊員10人  
集落支援員4人を配置

5381万円

地域おこし協力隊は、薬用作物振興、ふるさと納税、農業振興、有害鳥獣ミッションの4人が在籍。新たに観光・PR、食品産業振興、観光拠点施設運営で6人を配置し、地域とともに課題解決に取り組む。

集落支援員は、大桐・野老山地区にそれぞれ1人配置、今年度から新たに横島地区に2人を配置し、集落の目配りや地域の行事活動の支援を行う。

【11面に関連記事】

総務課

矢野議員 ふるさと寄附金の内訳と配分は。使途を寄付者に選択してもらおう。織田総務課長 使途を条例で決めており、寄付者に選択してもらおう。1億3千万円を歳入に計上している。

サイトを通して寄付受入

織田総務課長 トラストバンク、楽天、ぐるなびのサイトを通して寄付を受け入れている。寄付金額の8%〜10%を委託料として計上している。

税務課

増額計上の要因は

小田議員 町民税が昨年度に比べ約1600万円の増額計上になっている要因は。

1千万円を超える補正がないように

岡田税務課長 給与の伸びを見込み、1千万円を超える補正がないように精査した。

危機管理課

工事の場所は

高橋議員 窓ガラス飛散防止工事の場所は。

町民会館の一部分

上田危機管理課長 町民会館の一部分である。

自主防災補助金は

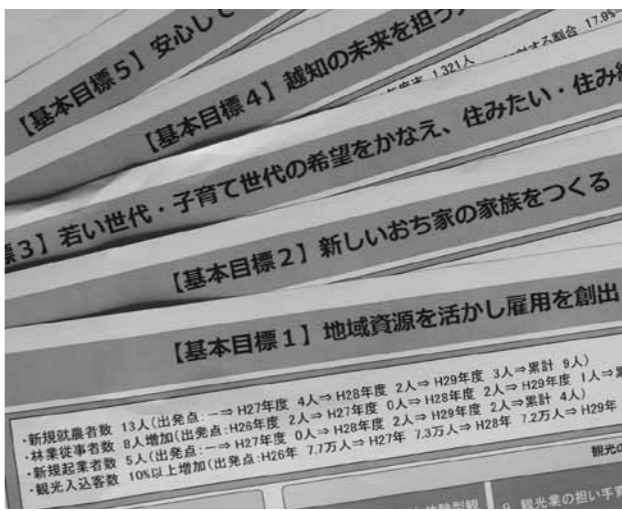
岡林議員 自主防災組織整備補助金は。

倉庫と資機材を補助

上田危機管理課長 自主防災組織を設立して訓練等を行った地区に倉庫と資機材を補助する。

企画課

総合戦略調査149万円



KPIとして掲げた目標は38項目

戦略の内容は

武智議員 総合戦略KPI達成状況調査業務149万円の内容は。

アンケートをとる

大原企画課長 平成32年度まち・ひと・しごと創生の計画改定のため、31年度にKPIの満足度の達成のアンケートをとる調査業務の委託料となる。

KPI 重要業績評価指標のことで、業績評価を定量的に評価する指標である。

首都圏からモニターを募集

大原企画課長 首都圏でモニターを募集し、キャンプ場をPRしていただくことを考えている。動画力で越知の魅力を全国へ発信する。

観光費の消耗品費の内容は

岡林議員 観光費の消耗品費426万円の内容は。

落成式とカヌーの消耗品

大原企画課長 落成式の消耗品29万円と、来年オープンする宮の前センターハウスで使うカヌーの消耗品378万円などである。

備品一式の内容は

高橋議員 カヌー・ラフティング事業用備品一式の内容は。

大原企画課長 今回114万円全てスノーピークに貸す備品となっており、シットオンカヤックなど8種類を計上している。

ふるさと寄附金1億3千万円



一番人気の越知町産季節の野菜セット

使途に制限があるか

高橋議員 横島西部集落活動センター、おち駅、スノーピークの指定管理料の使途に制限はあるか。

活動内容は

高橋議員 地域おこし協力隊の観光PR2人と観光拠点施設運営1人の活動内容は。

見積書は

武智議員 「越知ぜよ！熱中塾」への補助金を出す見積書はでているか。全体事業費の説明を。

収支予算書

大原企画課長 収支予算書をいただいている。熱中塾全体の運営は、1008万円。

熱中塾全体の予算内容は

矢野議員 熱中塾は会費として年間200万円ぐらいが入ってくるので、全体では1千万円ぐらいの予算になると思うが内容は。

講師の旅費と人件費などに

大原企画課長 塾生は80人を予定しており、192万円の授業料を見込んでいる。ほとんどが講師

住居5部屋分

大原企画課長 地域おこし協力隊の住居として5部屋分、また、土地借上料は、市山・浅尾・10区の3件分である。

計6人

大原企画課長 観光協会3人、地域おこし協力隊3人の計6人である。

観光業務人数は

高橋議員 観光業務に関する合計の人数は。

キャンプイベント300万円



日ノ瀬キャンプ場で開催された親子キャンプイベント

キャンプイベントの内容は

武智議員 キャンプイベント300万円の内容と開催時期は。対象は。

大原企画課長 首都圏で5月と10月に町民を対象に体操プログラムなどを開催する予定にしている。

大原企画課長 落成式の消耗品29万円と、来年オープンする宮の前センターハウスで使うカヌーの消耗品378万円などである。

# よこジローグッズ455万円



よこジローグッズが並ぶ全国イベント

## よこジローグッズの内容は

よこジローの顔出しパネルを作る。

**市原議員** よこジローグッズ455万円の詳しい内容は、

## デザインを一新する

**大原企画課長** デザインを一新して作るようにしている。

新規として鉛筆、消しゴムなど、色々な種類を作るようにしている。

**箭野議員** 県補助金の観点から、光拠点等整備事業4759万円の内訳は、

**大原企画課長** かわの駅の備品、消耗品に2分の1の221万円の補助金と前年度までのキャンペーン場建設に係る一括交付金である。

## 今後の計画は

**山橋議員** 現在、集落支援員がいけないのは明治地区である。今後の計画は、

## 導入を検討

**大原企画課長** 導入を検討している。

## 空き家補助金の内容

**西川議員** 空き家荷物整理、処分等の補助金で20万円を計上しているが、内容は、

## 大原企画課長

空き家バンクに登録している物件が対象で、荷物等を処分する場合に使うことができる。

## 補助金の内容は

**武智議員** ふるさとワーキングホリデー補助金28万円と、移住支援補助金100万円の内容を、何人分か。

## 大原企画課長

ふるさとワーキングホリデー参加者3人分の交通費と宿泊費の補助となっている。

移住支援補助金は1人分、東京から越知町に移住し県内で就職する人が補助の対象になる。

## 土地借上料はどこか

**山橋議員** 企画振興費の土地借上料122万円はどこか。

## 大原企画課長

日ノ瀬のスキーパークの看板を設置している横倉、横倉神社借地、おち町の第2駐車場、横倉山展望所の4カ所である。

## 入札か

**高橋議員** 日ノ瀬キャンプ場芝生の補修工事は、入札か。

**大原企画課長** 特殊工法であるため随契としたい。

## 特殊工法で補修



利用が多いところは芝がなくなっている

**山橋議員** 日ノ瀬キャンプ場の芝生補修工事は、毎年必要か。

## 大原企画課長

毎年補修しないようにするため、今回、特殊工法で補修工事をする。

## 建設課

## 補助金の内容は

**武智議員** 耐震改修補助金の内容は、

**前田建設課長** 耐震改修費補助金1838万円は、

## 特別会計

## 環境水道課

## その対象があるか

**小田議員** 基本計画に含まれるのは簡易水道以上の施設だと思われるが、その他施設でも対象になる場所があるか。

## 含まれていない

**岡田環境水道課長** 町が経営している水道事業を統合する際に1つの事業としての計画を立てるものである。

その他の給水施設は計画には含まれていない。

## 計画の内容は

**武智議員** ストックマネジメント計画2千万円と公共下水道に係る計画設計の560万円は、

## 積算方法の変更

**岡田環境水道課長** 積算方法の変更により増額となった。

## 維持管理の増額内

**岡林議員** 下水道維持管理費が155万円増額の内容。

## 中学生国際交流961万円



昨年はオーストラリアでホームステイ

## 教育委員会

## 詳しい内訳を

**市原議員** 中学生国際交流事業の詳しい内容を。

## 交通費とホームステイ費用

**谷岡教育次長** 保護者の希望に沿って、گرام全員の参加の予算計上をしている。交通費とホームステイの費用で、1人当たり26万7千円の見積もりになっている。

## 事業の説明を

**武智議員** 社会教育費の観光振興事業と誕生日品事業の説明を。

## 武智生涯学習課補佐

観光振興事業は、淀家萬月さんの笑いで元気な町づくり事業である。誕生日事業は、木のおもちゃをプレゼントする事業である。

## 地域ハイヤーチケット 560円×2枚×12カ月



乗り降りが自由にでき便利

## 産業課

## ジビエ進捗は

**西川議員** ジビエ事業の進捗状況は

**田村産業課長** 建築コストが高く現段階では、実施できない。

## 保健福祉課

## 森下議員

地域ハイヤーチケット事業の内容は、また、増額の要望は、

**國貞保健福祉課長** 560円の券を1カ月に2枚、4月に申請すれば12カ月分を支給する。増やしてという要望は聞いていない。

# 横畠西部に集落活動センター完成



## 条例制定

### 集落活動センター

集落機能の維持や地域活動の担い手確保などの課題を抱える集落において、集落同士の連携等により総合的に取り組む拠点として、集落活動センターの設置及び管理に關し必要な事項を定める。  
(公布の日から)  
《賛成・全員》

## 指定管理者の指定

横畠西部集落活動センターはチーム横畠を指定  
チーム横畠に本年4月1日から平成34年31日まで指定する。  
《賛成・全員》

## 質疑

### チーム横畠の内容は

箭野議員 指定管理者となるチーム横畠の内容は、代表は大原健次会長  
大原企画課長 代表者は、大原健次会長で、役員は9人、平均年齢は60代前後である。

## 条例の一部改正

### ふるさと寄付金業務を企画課へ

ふるさと寄附金業務をより効果的に町全体の活性化につなげるため総務課から企画課に移管する。  
《賛成・全員》

### 新たに非常勤の学芸員を配置

横倉山自然の森博物館に新たな非常勤学芸員を配置するため、報酬及び費用に関する条例の一部を改正する。  
博物館学芸員  
月額 32万円  
《賛成・全員》

### 時間外勤務見直しへ

超過勤務命令の上限設定に係る人事院規則の一部改正に準じて条例の一部を改正する。  
《賛成・全員》

### 町長・副町長・教育長・及び議員の期末手当

一般職の期末手当の支給割合に準じて、6月・12月の支給割合を平準化する。  
《賛成・全員》

## 質疑

### 時間外勤務最長は

山橋議員 29年度の時間外勤務は最長でどれくらいだったか。  
年間510時間  
織田総務課長 年間510時間である。

### カヌーはかわの駅へ

カヌー等の事業を観光物産館おち駅で行わないことにするため、条例の一部を改正する。  
《賛成・多数》

## 質疑

# 構えた艇はどうなるか



観光協会はカヌー10艇を保有している

武智議員 観光協会が構えた艇はどうなるか。

スノーピークに移すことは考えていない

大原企画課長 観光協会の財産となっているので、スノーピークに移すことは考えていない。

使用する川の範囲も同じか

武智議員 カヌー事業がスノーピークに移行したことで、使用する川の範囲も同じか。

同じコースを使うか検討している

大原企画課長 観光協会と同じコースを使うのか検討している。

## 工事請負変更契約

宮の前キャンプ場センターハウス建築他工事  
外構工事を除いたことによる減額。  
変更後 2億6536万1400円  
(2947万8600円の減額)  
契約相手 (株) 宮崎技建 宮崎興正 《賛成・全員》

## 財産の無償貸付

町民会館2階研修室(3)を高吾北広域町村事務組合が実施する障害者相談支援事業所として引き続き平成31年4月1日から平成36年3月31日まで無償で貸し付ける。  
《賛成・全員》

# オープンが待ち遠しい宮の前センターハウス



## 宮の前キャンプ場造成工事

玉石除去を追加施工、センターハウスの裏の上段補強土壁を斜壁から直壁に変更などによる増額。

変更後 199,401,480円  
(19,365,480円の増額)  
契約相手 (株) 高橋組 高橋佳久 《賛成・全員》



損害賠償

印鑑登録処理中における印鑑落下事故に対する損害賠償。

損害賠償の額  
1件 8万円  
《賛成・全員》

人事

教育委員の任命(再任)  
古味由希氏(越知甲)



町道の認定

任期は、平成35年3月31日まで。  
《同意・全員》

向屋敷池ノ上線を認定  
町道に認定する。

延長 297m  
幅員 4.0m  
《賛成・全員》



道路幅員が狭い(8区)

承認報告

横島西部集落活動センター改修工事

129万6000円を増額し、8693万4600円とする。  
浄化槽を30人槽から50人槽への変更による増額など。

平成30年度

一般会計45億3873万円

平成30年度一般会計予算は、各事業費の確定による減額補正と国のプレミアム付商品券事業に係るシステム改修を追加し、3億2408万円を減額補正して、総額を45億3873万円としました。

質疑

建設課

森下 横島本村の残土場予定地の進捗状況と今後の予定は。

越知事務所ですべていただく

前田建設課長 柳瀬川改修工事に伴う残土場を町が構える必要があり、県に紹介している。  
今後、数量計算や構造物の計画は越知事務所ですべていただくようになっている。



柳瀬川改修工事の残土場となる横島本村の予定地

平成30年度補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	△3億2408万円	45億3873万円
特別会計	簡易水道	199万円
	下水道	177万円
	国民健康保険	△446万円
	介護保険	78万円
	後期高齢者医療	△45万円

(全員賛成・可決)

広域議会

第1回定例会が、2月27日に開かれ、31年度各会計予算、30年度補正予算、条例の一部改正など10件を全会一致で可決しました。

組合長報告

●清掃センター基幹的施設整備工事の進捗状況  
2号焼却炉更新機器の単体試験運転が完了し、4月より焼却の本格運用を開始し、1号焼却炉の解体に取り掛かる予定である。



ヘリポートは、管内に34カ所

●消防署  
救急出動過去最高

平成30年中の救急出動が前年より54件増加し、1603件で過去最高となっている。一日平均4.4件で、高齢者搬送の割合が約79%で、増加傾向にある。

高知市内などへの管外搬送が約57%である。ヘリを77回要請しており、救命率の向上に大きな効果が現れている。

平成31年度予算

一般会計5億円超減額  
清掃センター基幹的施設整備工事などの事業費の減により、5億円超の減額予算となった。

質疑

30年度一般会計補正

入所率94%以下で稼働しているのは

坂本玲子議員 特養が入所率93%以下で稼働しているのは。

空けておく必要がある

山尾もみじ荘所長 入院される人が増え、退院後に再入所もあるので3カ月ぐらいいは様子を觀察するために部屋を空けておく必要がある。  
《賛成・全員》

職員採用の計画は

坂本玲子議員 会計年度職員は、現在どのようになっているか。また職員採用の計画は。

採用試験は10月に予定

橋本局長 構成町の動向を見ながら、条例改正をしたい。時期は、12月から3月ぐらいになると思っている。

一般職、介護職ともに10月頃に採用試験を行う予定である。  
高吾北管内では、看護師の応募がない状況である。3町の広報誌、高知新聞に広告を出し人員の確保を図っていく。

# 町政を問う

3月定例会は5人が一般質問を行いました。発言内容は紙面の都合で要約してまいりますので、ぜひ議場に足を運んでいただき、白熱した議論を傍聴してください。なお、全文を記載した会議録は、議会事務局と町のホームページ (<http://www.town.ochiie.jp>) でご覧下さい。

## 一般質問 5人登壇

森下安志・・・19ページ



- ① 県道18号線片岡・鎌井田間の待避所増設は
- ② 体験型観光（サイクリング導入）

箭野久美・・・20ページ



- ① 地域資源を生かした雇用創出（農業分野）

市原静子・・・21ページ



- ① 福祉避難所はできているか
- ② 検査費用を助成する考えは
- ③ 出産祝金を多く支給する考えは

武智 龍・・・22ページ



- ① 自伐型林業推進のために仮設橋を
- ② 集落水道に支援を

岡林学・・・23ページ



- ① モバイルハウス補修した理由は
- ② 宮の前センターハウスの物販
- ③ サンショウ栽培の高齢化が進んでいる

## 県道18号線改良工事

### 片岡・鎌井田間の待避所増設は 県へ粘り強く要望していく 建設課長



森下安志 議員



早急に待避所の設置を

**問** 片岡・鎌井田間の未改良区間の今後の計画はどうなっているか。

**答** また、知事・県議会議長に越知町議会として、要望していた待避所増設の計画は。

**前田建設課長**

トンネル工法の予定で、南片岡バイパス工事が着工となり、軌道に乗った段階で、並行して本格的に検討をする。また、待避所設置は、

住民と協議をしながら早急に調査検討するよう土木部から越知事務所へ指示があった。

設置するには、地形や河川との関連があり、箇所選定に苦慮しているとのことである。

バイパスの早期着工、片岡・鎌井田間の計画策定、待避所の対策は、県へ粘り強く要望していく。

### 渋滞の解消策は

**問** キャンプフィールドに来る多くの県外客が対向車有りの標示システムに不慣れなため渋滞を起こしている。要望している待避所の増設と、調査測量を早急にできないか。

**小田町長** 対策として、国道33号から来るように、スノーピークのホームページと本町で啓発している。

改良工事については非常に時間がかかるが、前倒しできるような県へ要望していく。

### 体験型観光

### サイクリング導入

### 検討していきたい

企画課長

**問** 仁淀川ブルーライドの影響で、サイクリングを楽しむ人たちがよく見かける。

本町は、自然体験型観光を進めているが、宮の前センターハウス「かわの駅」に、サイクリングターミナルを取り入れる考えは。

**大原企画課長**

県観光コンベンション協会が行う「ぐるっと高知サイクリングロード」事業の中に、越知町のコースもある。

このコースには、指定された高知サイクルオアシスという休憩ポイントがあり、これに登録すると県からサイクルスタンプと空入れが無料貸与してもらえる制度で、

現在、日ノ瀬・宮の前のスノーピークが指定の話を進めている。



仁淀ブルーを満喫

# 地域資源を生かした雇用創出（農業分野）

## どのような対策をとってきたか

### サンショウは主要作物に成長した 産業課長



矢野久美 議員

**問** 農業分野において生産者の高齢化や後継者不足の問題にどのような対策をとってきたか。

**田村産業課長** 高齢者にも栽培できるサンショウを推奨し、主要作物へと成長した。

また、国の農業次世代人材投資資金事業や町のふるさと就農給付金で町内外から農業の担い手を募集している。

**問** 農業人口は減っており、耕作放棄地は増え続けているが対策は。

**田村産業課長** 中山間地域等直接支払制度を活用し、放棄地を増やさないようにしている。

平成31年度は農業委員会と協力し、農地の意向調査を予定している。



耕作放棄地を何とかしたい

耕作放棄地は病害虫の発生や雑草が周りの農地へ影響を与えたり、野生鳥獣のすみかとなったり、ごみの不法投棄場になったり、景観が悪くなったりと、農業だけでなく生活環境への悪影響がある。



2次3次へつなげる

## 二次、三次産業へ

**問** 分散している放棄地を一括管理し、二次、三次産業につながる独自の農業形態を構築して若者を雇用する考えは。

**田村産業課長** 若者の雇用は、人口の急減対策、人材確保、集落維持などに絶対必要である。他業種を含めた独自の経営形態については今後勉強していきたい。

**小田町長** 中山間地域の農業対策は国の制度を活用し、また、町独自でできることも積み重ねながら、若者が魅力を感じるような新たな制度も要望していく。

# 防災対策

## 福祉避難所はできているか

### 3カ所できている 保健福祉課長



市原静子 議員

**問** 災害時に、高齢者や障害者・妊産婦など特別な配慮が必要な人のための「福祉避難所」は「指定・整備」が必要であるが、できているか。

また、避難するときの配慮は。

**国民保健福祉課長** コスモス荘・五葉荘・かがやきと協定を結び3カ所できている。

整備について、基準を満たした町有施設はなく、設備が整っている病院や介護施設等、理解を得ながら検討する。

また、避難時の配慮は、避難行動要支援名簿を活用したい。

現在、様々な福祉避難所に関する研修や訓練を重ねている。

## 認知症対策

### 検査費用を助成する考えは考えていない 保健福祉課長

#### 考えていない 保健福祉課長

**問** 認知症の早期発見のため、75歳以上の高齢者を対象に、診断に必要な検査費用などを助成する事業を導入する考えは。

**国民保健福祉課長** 本町は地域の支え合いができる環境であるため、考えていない。

平成21年から3回程程度精神科医を招いて、高齢期の心の問題の相談を受けている。

平成28年から医師、保健師、社会福祉士がチームを結成し、認知症初期集中支援を行っている。

## 見守り支援は

**国民保健福祉課長** 量販店の店員や中学生を対象にサポーター要請講座を行い、行動に目を配りいち早く気付く取り組みを行っている。



ここなら安心です（コスモス荘）

# 少子化対策

## 出産祝金を多く支給する考えは

### 増額が必要か検討したい 町長

**問** 本町の出産祝金は5千円である。

四十町では、第1子と第2子は5万円、第3子以降は30万円を支給しているという。

もっと多く支給できる環境を整えることは、少子化対策の一環となるが、考えは。

**小田町長** 日高村・佐川町は支給していない。

仁淀川町は第1・2子5万円、第3子10万円を支給しているが、定住の効果と子育て世代の増加もないようである。

出産祝金の増額が必要か検討したい。



町長 武智 龍 議員

仮設橋の設置を

問 桐見川地区出身者で、定年後に自伐型林業をやりたい人がいる。重機などが渡れる橋がないので、仮設橋の設置はできないか。

前田建設課長 延長30メートル以上になれば、相当な費用が必要だし河川協議も難しい。

問 いの町清水の仁淀川支流には、25トン車で木材を搬出できるように設計された仮設橋がある。森林所有者の積年の願いを叶えるため、実現させる考えはないか。

小田町長 現場は急峻な地形であり、スパンも長い、どの位置から渡すのか林業振興の一環として考えたい。

林業推進体制は

問 推進体制の見直しや林業の担い手育成は

県との人事交流で

小田町長 県との人事交流で、専門職員が入ることなどで活路が見いだせる。

前田建設課長 本町の林業従事者は6人で非常に少ない。

希望者には林業大学校や事業所に派遣して勉強する制度を考えたい。



重機等の通れる橋が求められている

集落水道に支援を

個々に対応する 町長

問 山間集落で戸別に取水している所では、ろ過タンクがない、増水のたびに水が止まるなど、飲料水施設の管理に大変苦労している。町全体で何力所あるか。環境改善の支援が必要ではないか。

岡田環境水道課長 谷の水を戸別に取水している所や、ろ過池の砂の削り取りや補充が必要な施設は合計29カ所あり、該当者は約240人だ。

庁内に検討チーム

小田町長 地域の課題解決のため、庁内に山間地域集落維持検討チームを立ち上げて個々に対応する。



施設の改善が急がれる

その他の質問

キャンペーンは

問 県の自然体験型観光キャンペーンは、中山間振興の切り札となるが、どのように取り組むのか。

長期になる

前田建設課長 31年度には用地交渉に入るが、全線の改良はかなり長期になると思う。

侵入道の拡幅は

問 県道から大樽の滝へ入る車道の拡幅は何年でやるのか。

スタンプラリーで

大原企画課長 商工会青年部などが主体となって、観光客を商店街へ引き込むスタンプラリーを行う。

経済効果の目標は

問 自然体験型観光客の増加に伴う地域経済波及効果などの目標は。

今後検討する

大原企画課長 町全体の観光消費額は出していないが、今後検討する。

林業振興

自伐型林業推進のため仮設橋を 林業振興の一環として考えたい

モバイルハウス

補修した理由は

防汚処理が適切でなかった 企画課長



1年間仮置されていたモバイルハウス

大原企画課長 17棟のうち15棟に外壁の防汚処理が適切に行われておらず、雨風により変色が起きたことが原因で、製造元が補修し、費用はスノーピークが全額負担。今後は、3年から5年を目処に塗装することをメーカーが推奨している。1台に10万円程度補修費がかかると想定している。

宮の前センターハウスの物販

申込者数と品物は決まったか

13種類73品の販売を予定 企画課長

問 宮の前センターハウスの物販について、町内外の申込者数と品物は決まったか。

大原企画課長 町内から、25件の申し込みがあった。13種類73品の販売を予定している。町外業者は14件、13種類172品を予定、商談中である。

サンショウ栽培

高齢化が進んでいる

問 山椒組合は、32人が携わっており、収穫時には延べ4500人の雇用があった。

ヒューマンライフ土佐は、261人の契約者が栽培しているが、高齢化

問 手数料と、売り上げは試算しているか。

大原企画課長 町内は16%、町外は16〜20%で検討している。31年度は、3133万円を見込んでいます。

問 キャンプの利用人数より、どれだけ経済効果があつたかが重要と思うが。

小田町長 新たな試みとして、中心市街地活性化計画として、商店街マップを作り、着実に経済効果が進む施策を行いたい。

国員副町長

問 本町のサンショウは、昨年約2億2千万円の売り上げがあり、町農業の大きな収入源である。人手確保に農業公社があればと思うが考えは。

総務教育常任委員会（委員長・高橋丈一、副委員長・小田範博）5人は、2月1日に所管事務調査を行い、調査結果を取りまとめ3月定例会で報告しました。



高橋丈一



小田範博



箭野久美



市原静子



岡林 学

企画課

浅尾お試し住宅改修工事  
（浅尾）

空き家を改修したとは思えないほど立派な仕上がりになっている。

換気扇が小さく、フード付きとなっていないのが残念である。町道から住宅に出入りする道路は、小谷に沿っている。人が転落し大けがをする恐れがあるので、手すり・外灯の設置などの安全対策を要する。

手すり・外灯の設置を



本町のお試し住宅は2つ目

地域の拠点施設として  
活用が期待される



横皇西部集落活動センター改修工事（横皇）

総務課

西ノ芝団地解体工事  
（9区）

防災・まちづくり両面から、将来を見据えた土地利用を期待する。



駐車場として利用

防災・宿泊機能を備えた建物が完成し、地域の拠点施設として活用が期待される。  
・町道からグラウンドへの通路の入り口と終点付近の拡幅。  
・グラウンドの南側の一部を舗装し、駐車場にしたら利便性が向上する。  
・町道の入り口付近に看板を設置したら分かりやすい。

・宿泊者が利用できる車の充電設備があれば充電スポットがあるということで、集客につながる。以上のことを検討されたい。  
施設の維持管理費をどうやって賄っていか開所後の課題である。

町民バス待合所建築工事（8区）

バス利用者がゆっくり待つことができるスペースが完成した。また、車止めの設置を足元には簡易な暖房器具を検討すること。



ゆっくり待つことができる

梅ノ森集会所解体・建築工事（梅ノ森）

既存建物を解体し、元の場所に建て替えている。以前は、集会所への出入りは急勾配で高齢者等には厳しかった。

今後は、2階にある集会所へ町道からスムーズな出入りが可能となる。快適な空間が確保できていること、地域の拠点となることを期待する。

役場庁舎内トイレ洋式化改修工事（4区）

1階トイレは改修できたが、引き続き2階・3階の改修を速やかに進めたい。  
女子トイレ洗面台のライトが暗い等、改善の余地がある。



保健福祉課・総務課

保健福祉センター改修工事・駐車場用地購入費  
・駐車場整備工事（9区）

利便性が大きく向上



保健福祉課は9人から17人体制となる

今回、保健福祉センターへ介護保険担当と包括支援センターの業務が移転し、関係業務を一元化できるようになった。  
新たに15台分の駐車

産業建設常任委員会（委員長・武智龍、副委員長・森下安志）5人は、2月8日に所管事務調査を行い、調査結果を取りまとめ3月定例会で報告しました。



武智 龍



森下安志



西川 晃



寺村晃幸



山橋正男

建設課

道路の整備

町道宮ヶ奈路線宮ヶ奈路1号橋修繕系交付金工事

今回は、塗装と舗装工事を行っている。集落に通ずる唯一の橋であり、2期3期と続けて実施し早期完成を望む。



集落に通ずる唯一の橋

早急な改良を

町道鎌井田桑敷線修繕系交付金工事(鎌井田)

側溝蓋の騒音は工事で改善されたが、右左折時に車底が擦るなど通行に支障が出ている。早急な改良を要する。



町道鎌井田桑敷線修繕系交付金工事(桑敷)

全面舗装が完了し快適になったが、大雨時には、路面を大量に水が流れることは改善されていない。既設暗渠の上に開渠を造るなど、流末処理を必要がある。



流末処理対策が必要な箇所

町道西ノ芝1号線改良交付金工事(宮)

道路が新設されたことで、新たな宅地ができ事業効果が出ている。また、隣接住民の協力により、ブロック塀が低く切られ見通しもよくなった。



町道沿いに分譲宅地が並ぶ

今後の対応として、さらに延長し商店街への連結を検討願いたい。

町道鎌井田稲村線修繕系交付金工事(鎌井田本村他)  
ロックネットを施工された場所は安全に通行できるようになったが、他にも危険な場所があり、延長することを検討されたい。



上側も崩落が見られ危険だ

環境水道課

筏津地区給水施設整備工事(筏津)

配管工、取水ポンプ、送水ポンプ、滅菌設備の工事が進む。消火栓は3カ所あり、適切な配置となっている。

施設の老朽化による漏水で生活用水の確保に苦慮していたが、今後は安定した生活用水の供給ができるようになる。

長年の飲料水の問題が解決

柚ノ木配水設備工事(柚ノ木)

調整池を1基、配水管敷設の工事が進む。今回の接続予定戸数は6戸で、長年の飲料水の不足問題が解決される。



調整池 5t

水道事業は大変重要である。今後とも要望のある地区については、早急に着工し完成を目指してもらいたい。

企画課

宮の前キャンプ場造成工事(宮の前)

観光拠点施設の役割に期待

宮の前キャンプ場建築他工事(宮の前)

4月下旬のオープンに向け、センターハウスの建築等が急ピッチで進んでいる。

1階がRC構造、2階が木造となっており、県産材がふんだんに使用されている。

完成後は、観光客の集客と流域の観光拠点施設としての役割を期待する。



宮の前センターハウス内部

結果が出た時点で説明を



アスファルト舗装にクラックが見られる

事前に十分な地盤調査をしていたが、想定外の地盤沈下が発生し、工事を一時中止し経過観察しているとの報告があった。

結論が出た時点で説明をされたい。

おち町議会だより No.128

給水施設工事が進む



10世帯に18人が暮らす筏津地区

# 堂林公民館で開催

2月13日に堂林公民館で12回目となる議会報告・懇談会を開催しました。  
旧小学校単位で1周りしたので、小さい声も聞くことをテーマに、高齢化が進み人口減少が著しい南ノ川・小日浦・堂林地区で意見交換・議会報告をしました。



9世帯12人が暮らす堂林地区

## 懇談会

# 1番は水道。高齢化で管理ができない

砂を上げてもらいたい  
執行部に要望しておく

**住民** 一番は水道。高齢化で管理をすることが難しくなっている。タンクでろ過している砂が減っており、補給したいがトップカーも通れない場所がある。タンクまでは300mほどだが、80歳以上の者が、人力で100袋くらいの砂を水源地まで上げるのは大変だ。町で上げてもらえないか。

**議員** 議会がやりますと言えないので、町の執行部におく。早くやってほしいということ強く要望しておく。

**住民** 中峰だが、水が枯れて1週間ほど水道が止まっていた。子どもに水源を掘ってもらいやつと水が少し出ている状況だ。安定して生活用水が確保できるように、作業班に造ってもらうことはできないか。

議会からも言う

**議員** 議会でも環境水道課に提言するが、区長さんからも早急に要望するようにお願いする。



ろ過する砂が少なくなっている堂林地区のタンク

## 何とかならぬいか道路の穴

**住民** 下の谷から堂林間と大屋敷から小日浦間の道路に穴が開いている。碎石を入れただけでは大型ダンプが通つたらすぐ同じようになる。また、ダンプが土日に通るので静かに休めない。土日の運行をやめてもらいたい。

道路の穴は対応ができるようにしたい

**議員** 路盤を固め舗装しているがあと何年も掛かる予定だ。道路の穴の件は、議会として執行部に伝え、早急に対応ができるようにしたい。

ダンプが土日に通る件は、当初に約束事が交わされているかもしれないので確認する。

## 利用の見直しを

**住民** 家から街までハイヤーで片道3500円かかる。町民バスは木曜日だけで、町での滞在できる時間が少なく、病院、買い物など予定していたことができなないこともある。ハイヤーチケットの枚数を増やすか、町民バスの回数の見直しはできないか。

諮るようにしたい

**議員** 75歳以上はバスハイヤーの2重のサービスが利用できる。行政サービスにも限界がある。

手入れができない

**住民** 山林が荒れ放題となっているが、高齢化で手入れができない。

議会からも実情を執行部に伝え、公共交通会議で諮るようにしたい。

**議員** 24年に桐見川で懇談会をやった時と同じような意見がでていた。間伐促進や外材の輸入制限等5件の意見書を議決し、内閣総理大臣、関係大臣、関係機関に提出した。

新たな取り組みとして、管理機構が森林所有者からまとめてやりたい人に貸すような仕組みをつくるために、建設課が意向調査を今年から開始するようだ。



南ノ川・小日浦・堂林地区をはじめ、近隣地区から16人が参加

## 議会から

懇談会で出た意見やアンケートを取りまとめ、執行部に文書を提出し、回答をもらうようにします。住民の声を大切に、これからの議会活動に生かしてまいります。

道路のあちこちに大きな穴



29年12月

**山橋議員** 集合住宅と分譲する土地の区画割はできたのか。  
**集合住宅は何戸か。**  
 中内企画課長 分譲する土地は4区画である。集合住宅は1区画だが、戸数は決めていない。

**山橋議員** 募集はいつからするのか。  
**問い合わせ等はあるか。**  
 中内企画課長 分譲は30年2月に募集案内をする。  
 現在までに、個人と金融機関から数件の問い合わせが来ている。

29年6月

**小田議員** 土地を取得して半年以上たつが、現在の分譲状況はどうか。  
 小田町長 土地の区画割合に手間取っており、分譲できていない。

**小田議員** 何区画を分譲し、坪単価は設定しているか。  
 中内企画課長 3〜4区画を分譲する計画で、単価の設定はできていない。

**小田議員** 全ての事務処理が大変遅れているが、今後の取り組みは。  
 中内企画課長 早急に募集できるように事務処理に取り組む。

### 処理状況

## 3区画が分譲され、1区画は募集中

30年2月に募集チラシを全戸配布 → 1区画が分譲  
 広報おち(4月号)と一緒に随時募集のチラシを全戸に配布・ホームページにも掲載 → 1区画が分譲  
 広報おち(7月号)に掲載、広報おち(1月号)と一緒にチラシを全戸配 → 1区画が分譲  
 現在、1区画が分譲できていない。



手前の1区画が分譲できていない(点線で囲んだ部分)



集合住宅建設用に購入した土地(点線で囲んだ部分)

**建設時期は未定**  
 集合住宅の建設時期は未定となっている。



# あれはどうなっちゅうが？

26年6月定例会で、賛成4反対4の同数となり、議長裁決で可決した

賛成	反対
市原静子	小田範博
高橋丈一	武智 龍
西川 晃	岡林 学
寺村晃幸	山橋正男



購入費

2430万円

28年6月

**小田議員** 移住定住用の宅地としては、立地条件が良いが、ブロック壁には数力所にクラックが確認され不安定と思われる。どのような安全対策を行ったか。  
 前田建設課長 開発許可が必要でない時代に造成されたもので、デュータがない。  
 構造物の安全性は、専門家に依頼する必要があると認識している。

**小田議員** この土地を取得した場合、2、3区画を民間に分譲する計画と聞いたが、どのような説明を行って契約書を作成するのか。  
 中内企画課長 土地の南側を庭にして北側に家を建てることを条件とし、売買契約書に、地盤、擁壁などの専門的な調査をしていないことを記載する考えである。

28年12月

**小田議員** この土地を購入した経緯と目的をいま一度聞く。  
 中内企画課長 土地の所有者から一括購入してほしい打診があり、移住・定住策を進めるため検討を重ね購入に至った。

**小田議員** 9月議会での一般質問で、全区画分譲するような答弁であったが、町営住宅の建築はしないのか。  
 小田町長 現時点では、分譲と集合住宅を建てる2本立てで考えている。

28年9月

**山橋議員** 売買契約は完了したか。  
 6月議会で、構造物が不安定であるとの質問があったが、その後独自、もしくは専門家等に調査を依頼したか。  
 中内企画課長 8月15日に2430万円を所有者に支払った。独自の調査はしていないが、前所有者が4カ所地盤調査を行い良好な地盤であると聞いている。

**山橋議員** 民間に分譲するのは何区画か、募集方法は。  
 小田町長 4から5区画とし、全てを民間に分譲することも考える。募集方法は、具体的に検討していない。